

平成26年度局配分枠予算について

保 健 福 祉 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

保健福祉局においては、少子高齢化，低経済成長と厳しい財政状況の中，市民のいのちと暮らし，安心・安全を支える施策を持続的に実施していくため，昨年度に引き続き全事務事業の点検，見直しを行いつつ，新規・充実事業については，以下の7つの観点から新たに必要となる予算を検討したうえで，国補助金等の財源を最大限に活用するなど，限られた予算の範囲で，現在の市民ニーズに効率的かつ効果的に対応していけるよう精査を行いました。

- ①すべての市民の皆様のかげがえのない「いのち」を守る
- ②「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が息づいた，子どもを安心して生み，楽しく育てることができるまちづくりを進める
- ③子どもから高齢の方まで，障害のある方もない方も，いきいきと暮らすことができるまちづくりを進める
- ④保健・医療・福祉が連携し，地域で支えあうまちづくりを進める
- ⑤いのちと暮らしを守るセーフティ・ネットをしっかりと構築する
- ⑥不正を許さず，市民の皆様信頼される制度運営を推進し，真の安全に繋げる
- ⑦保健福祉行政を取り巻く環境の変化に対応し，施策の「改革」と新たな展開の「創造」を推進する

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

臨時福祉給付金支給事業	5,417,000 千円
子育て世帯臨時特例給付金支給事業	1,528,000 千円
水痘ワクチン接種の実施	144,000 千円

<充実事業>

成人用肺炎球菌ワクチン接種の対象拡大

全体事業費 243,000 千円（うち充実分 236,588 千円）